

KIBOKO



▶柳原副館長によるギャラリートーク

令和元年度東北大学基金感謝のつどい附属図書館見学会を実施

7月23日に「令和元年度東北大学基金感謝のつどい」が開催されました。これは東北大学基金より功績賞以上を受賞された寄附者の皆様方を招待し感謝をお伝えする会です。ご参加いただいた方々を対象に附属図書館見学会を行い、狩野文庫から国宝「類聚国史巻第廿五」、漱石文庫からは漱石の詳細な書き込みのあるニーチェ著「ツアラトゥストラかく語りき」英訳書、秋田家史料から豊臣秀吉、伊達政宗の書状、徳川家康黒印状、森潤三郎氏旧蔵米原文書から織田信長朱印状などの資料をご覧いただきました。あわせて地下書庫と狩野文庫・古典資料書庫の見学ツアーも行いました。

式典では、柳原敏昭副館長が「東北大学附属図書館の至宝」と題した基調講演を行い、東北大の主要なコレクションの紹介に加えて、森鷗外の孫である森富（もり・とむ）東北大学名誉教授を介した鷗外と東北大のつながりについての紹介がありました。

Contents

表紙

令和元年度東北大学基金感謝のつどい附属図書館見学会を実施 ①

TOPICS

- 東北大学に土井晩翠『天地有情』コレクションを ②
東北大学名誉教授 仁平 道明
- 日・EUフレンドシップウィーク2019企画展示 ③
「書庫のなかのヨーロッパ—人文学者のよここが—」の開催
- 第15回グローバルセッション“MANGA DAY!”を開催 ④
- 工学部創立百周年記念展示「百周年だヨ！全員集合」を ⑤
実施しました(工学分館)
- 新入生歓迎展示「川内歴史さんぽ」を開催 ⑤
- 〈つながり〉の一冊 ⑥
「日本人とドイツ人 比べてみたらどっちもどっち」
工学研究科ロボティクス専攻修士課程2年 馬場 麻里奈

- 図書館おもしろごだ—猫はなぜ長靴をはいたか? ⑥
——調査研究のススメ——
附属図書館情報サービス課 遠藤 直子

TOPICS

- 学生選書企画2018“Class Picnic : ⑦
A Day in the Bookstore”を実施しました
- 複合生態フィールド教育研究センターを会場に ⑦
データベース講習会を開催しました

Information

- 医学分館改修工事による休館と ⑧
臨時図書室開設のお知らせ
- 附属図書館公式SNSで情報発信しています! ⑧
- 小冊子「論文の探し方」卒論作成に役立つ本」 ⑧
を配布中(工学分館)



東北大学に土井晩翠『天地有情』コレクションを

東北大学名誉教授 仁平 道明

本学の前身である第二高等学校・東北帝国大学で教鞭を執った土井晩翠は、「…劫火に焼けし三萬の巻」と詠んでいるように、昭和20年7月の仙台空襲で蔵書の多くを失ったが、そのとき焼け残ったものと、その後購入した書籍等が昭和40年に附属図書館に入り、「晩翠文庫」となったことは、よく知られるとおりである。

先日、その晩翠文庫を見に行った。架蔵の晩翠の第一詩集『天地有情』の蔵書印について調べるためだった。『天地有情』は、明治32年4月に博文館から初版が出た後、版を重ね、後に他の出版社からも刊行されている。初版も稀覯というほどではない。ただ、架蔵の博文館版の初版には、見返しに2.4cm四方の「晩翠書房」とある印が捺されている。「書房」という言葉は、現在は書店、出版社等の名称に使われることが多いが、もともと「書齋」の意。「晩翠書房」とある印は、見返しに捺されているのだから、扱った古書店の印などではないはずである。“もしかしたらこれは晩翠の蔵書印なのではないか” “この『天地有情』初版は流出した晩翠の旧蔵



▶写真① 蔵書印「晩翠書房」

書だったのではないかなどと想像がふくらみ、晩翠文庫に同じ印が捺されたものがあるかどうか、確認するために行ったのである。

貴重書係長の菊地さんが一緒に調べてくれたが、1冊ずつ傷めないように開いて見るのに時間がか

かる。購入の年月等の書き入れのあるものや、他の印のあるもの等、さまざまなものがあったが、「晩翠書房」の印があるものは、限られた時間では見つけることが出来なかった。続きは後日、ということになり、持参した『天地有情』初版やその他の版を見てもらっていたところ、「初版の表紙の色が図書館のものと違います」と言う。架蔵の初版は、表は現在は退色して錆鼠に見えるが、裏は褐色（かちいろ）。図書館で以前一般書の中から拾い出して別置した初版は、煉瓦色。

初版の表紙にはそのような2種類の色のものがあるが、『天地有情』は、肌色のカバーをとると、版によって表紙の色や装幀が異なっている。架蔵のものでは、5版（明治33年）は松葉色もしくは麴塵、16版・18版（明治38年）は青褐、19版（明治39年）はやや暗い深緋、33版（明治43年）は茄子紺、58版（大正6年）は団十郎茶、80版（昭和3年）は錆鼠である。

そんなことを話していて、“晩翠文庫を持つ東北大学附属図書館に『天地有情』のコレクションのようなものがあるとよいのでは”と考え、まずは他社発行のものも含めて10冊ほどの架蔵の『天地有情』コレクションを附属図書館に寄贈することを申し出た。

それに多くの版が加わった、他の図書館では見られないような『天地有情』コレクションが実現するかどうかは、わからない。また、寄贈後は「東北大学附属図書館蔵」になる架蔵『天地有情』初版の見返しの印「晩翠書房」の正体が判明するかどうか、わからない。小文は、その中間報告である。



▶写真② 『天地有情』初版2種表紙（左・図書館、右・著者所蔵）



▶写真③ 『天地有情』5版～80版表紙（著者所蔵）

日・EUフレンドシップウィーク2019企画展示 「書庫のなかのヨーロッパー人文学者のよこがおー」の開催

東北大学附属図書館はEUi (EU情報センター) に指定されており、EU関連の資料を収集、公開しています。例年、5月9日のヨーロッパ・デーに合わせて、日・EUフレンドシップウィークの関連イベントを開催しています。

今年は、5月28日(火)から6月7日(金)の期間、「書庫のなかのヨーロッパー人文学者のよこがおー」と題した企画展示を、文学研究科院生企画実行委員会との共催で行いました。

今回取り上げたのは、本学文学部の前身、東北帝国大学法文学部で教鞭をとった、大類伸(歴史学)、河野与一(哲学)、児島喜久雄(美学)の三人の人文学者で、旧蔵書は現在、「個人文庫」として地下書庫に保存されています。三人ともヨーロッパに留学し、その影響を強く受けていたため、蔵書やそこに残された書き込みから、当時の興味や思考、ヨーロッパの影響を探るといった企画内容でした。

展示資料の選定や資料解説は、西洋美術史、フランス文学などを専攻する大学院生がそれぞれの専門性を生かして作成しました。

また、6月5日(水)には関連企画として、カフェトーク「暮らしてみたい！ヨーロッパ」を開催しました。将来留学を考える学生へ向けたトークイベントで、文学研究科の美学・西洋美術史専攻から武関彩瑛さん、瀬戸はるかさん、フランス文学・フランス語学専攻から玉田優花子さんが、ヨーロッパ留学の経験を話しました。留学中の生活費や奨学金、食生活や衛生状況、治安面など、生活に密着した話題のほか、講義ノートの取り方や、友人の作り方、留学先のコミュニティに溶け込むコツなどが紹介され、参加者からは「留学したいという気持ちが強くなった」「現地での生活が想像できた」といった感想が寄せられました。終了後も熱心に質問をする姿が見られ、留学への関心の高さがうかがわれました。

また、エントランスの展示コーナーでは、「私が出会ったヨーロッパ」というテーマで、本学の学生・附属図書館の職員などが撮影した、EU諸国の写真を展示しました。



▶児島喜久雄の旧蔵書(児島文庫)



▶企画者の院生によるギャラリートークも実施(6/1)



▶コーヒーを飲みながらフレンドリーな雰囲気



▶写真展示の人気No.1はローマの写真

第15回グローバルセッション“MANGA DAY!”を開催

7月4日(木)、本館グローバル学習室を会場に、グローバルセッション“MANGA DAY!”を開催しました。グローバルセッションは、留学生と日本人学生の交流と、グローバル学習関連資料の利用を促すため、留学生コンシェルジュが企画・実施するイベントです。

第15回となる今回は、文学研究科のアンディ・ホリック・ラムダニさん(インドネシア出身)とマリナ・ナシメントさん(ブラジル出身)の企画によるものです。当館所蔵資料の中でも、留学生・日本人学生どちらにも人気のある「MANGA (comic)」をテーマに、世界のマンガを紹介するプレゼンテーションと、4コママンガを描くワークショップの2部構成で行いました。

前半のプレゼンテーションでは、マリナさんが、ブラジル人マンガ家の作品「モニカと仲間たち」を紹介しました。作者のマウリシオ・ソウザさんは、生前の手塚治虫氏と親交があり、許可を受けて、アトム、サファイア、レオを作品内に登場させたことがあります。

アンディさんは、インドネシアのマンガの歴史について、ジャワ島に古くから伝わる伝統的な影絵芝居から始まり、外国から影響を受けた時代、日本マンガが席卷した時代、そして最近のインドネシア独自のスタイルが発展するまでと、時代を追ってそれぞれの代表的な作品を紹介しました。

ロシア出身で文学研究科助教のオーリガ・コピロワ先

生からは、自身の出身校である京都精華大学(日本で初めてマンガ学科が設置された大学)およびマンガ学科のカリキュラムの紹介がありました。また、オーリガ先生はお気に入りの日本マンガや、マンガを描くときの道具を持参し、参加者の興味を引いていました。

後半のワークショップでは、参加者全員が思い思いに4コママンガを描きました。

マンガを描くのが初めてという人もいましたが、日常のクスリとするようなワンシーンや、留学生ならではの視点、季節の風物詩などが描かれ、短い時間ながら様々な作品が仕上がりました。

当日は、アメリカやフランス、ポーランドなどの留学生と日本人学生計11人の参加があり、世界共通のメディアである「MANGA」を通して交流を深めたイベントとなりました。

図書館では、今後も留学生と日本人学生の両方が楽しめる様々なイベントを企画していく予定です。



▶図書館キャラクター「はぎのすけ」をモチーフにしたポスター



▶オーリガ助教によるプレゼンテーション



▶マリナさんによるライブ作画



▶熱心に4コママンガを描く参加者



▶作品を持って集合写真

TOPICS

工学部創立百周年記念展示『百周年だヨ！全員集合』を実施しました(工学分館)

工学部が5月に創立百周年を迎えたことにちなみ、5月15日(水)から6月14日(金)まで、工学分館1階ホールにて“100”に関連する資料を多数展示しました。

「この展示で工学部が百周年を迎えたことを初めて知った」という利用者も多く、それぞれ興味関心のあるコーナー

で、資料を手にとって見ていました。

未来の技術を予測した図書の展示コーナーでは、来館者にも予測にチャレンジしていただき、数年以内の出来事から150年後の様子まで、多岐にわたる内容が寄せられました。ご参加ありがとうございました。



▶ 会場の様子



▶ 書名に“100”と付く図書100冊



▶ 100年前に刊行された図書・雑誌



▶ 100年後の未来を予測した図書など

来館者の未来予測

20年後 全てのプラスチックが生物分解性になる。

30年後 買い物が顔認証になる。

150年後 タイムマシンが開発される。

そろそろまた東北大出身者からノーベル賞受賞者が出る。

2050年 水素を中心とした再生エネルギーが主になる。

新入生歓迎展示「川内歴史さんぽ」を開催

3月26日(火)から5月6日(月)まで、附属図書館本館エントランスの展示スペースにて、埋蔵文化財調査室、史料館と共催で、新入生歓迎展示「川内歴史さんぽ」を開催しました。



▶ ポスター

附属図書館本館が立地する川内キャンパスは、旧仙台城の跡地で、1600年から仙台藩初代藩主伊達政宗によって築城が開始され、幕末まで仙台藩が仙台城二の丸を構えていました。明治以降は東北鎮台、陸軍第二師団。米軍キャンプを経て、1950年代後半から東北大学の移転が始まったという歴史があります。しか

し、新入生がキャンパスの歴史に触れる機会が今まで少なかったため、今年度、新たにこの展示を企画しました。

展示品としては、仙台城以前の縄文時代の土器・石器から、江戸時代の陶器、土人形・土製品等。第二師団時代の磁器・ガラス製品等。

東北大学関連資料としては、学生紛争時の催涙弾や記念アルバムなどがあります。図書館は、伊達政宗書状や仙臺文庫叢書、仙台叢書、古い絵葉書等を紹介しました。

来年度以降も新入生向けに、キャンパスの歴史を知る展示を企画したいと考えています。



▶ 展示会場

SERIES <つながり>の一冊 『日本人とドイツ人 比べてみたらどっちもどっち』

比較から見えてくる日本の姿 工学研究科ロボティクス専攻修士課程2年 馬場 麻里奈

シリーズ<つながり>の一冊は、学生の皆さんに、感銘を受けた本や、他の学生さんにお薦めしたい本、ご自身の研究上影響を受けた本などを紹介しながら、つながっていく<リレーエッセイ>です。



皆さんは外国、特にドイツに対してどのようなイメージを持っているでしょうか。また、日本や日本の文化に対してどのような意見を持っているでしょうか。

本書では、著者が実際にドイツに住んで得た経験をもとに日本とドイツを比較し、両者の長所・短所を述べています。また、今後日本がどのように変わっていくべきかについても触れています。

著者はドイツ留学後、フリーライターとしてドイツに住んで四年半の方です。日本とドイツ両者の文化や

日本人とドイツ人の考え方を深く理解しているからこそわかる両国の長所と短所をわかりやすく解説しています。

具体的な内容として、第一章では「ドイツ人と日本人は似ている」という通説に対する著者の考えが述べられ、第二・三章で

は、日本人が日本を称賛する文化や日本を特別な国だと思っている人が多いことに危機感を呈しています。

第四章は、日本独自の文化である部活とドイツで一般的な市民クラブの比較、第五章は日本と欧米の働き方についてです。新卒の一括採用を行う日本とポジションが空き次第即戦力を求めて採用を行う欧米の働き方についてメリット・デメリットを述べています。

第六章は教育の機会です。私たち日本人には馴染みのないドイツの教育制度についての解説から、働き方にも繋がる大学教育についての比較も行われています。

第七章では家族の在り方に対して、第八章では日本の空気を読む文化とドイツの議論を好む文化について、第九章では、日本人の根本的な性質について述べられています。

専門的な知識がなくても気軽に読め、読んだ後には考えさせられる一冊です。

特に第五・六章の働き方と教育の機会については、イメージとは異なるドイツのシビアな現実を知ることができるため有益だと思います。皆さんに是非読んでいただきたいです。

図書館おもしろごだー



2019年新入生歓迎号から新シリーズ「図書館おもしろごだー」を掲載しています。「おもしろごだー」とは、仙台弁で「面白いね」という意味。図書館職員が執筆する新コーナーで、知って得する情報、図書館バックヤードの紹介、図書業務の苦労話など面白くお伝えするコーナーです。ぜひお楽しみください。

猫はなぜ長靴をはいたか？ —— 調査研究のススメ ——

附属図書館情報サービス課 遠藤 直子

日常というものはとかくボーッとなりがちなものである。令和時代の幕が開け、当初の喧騒もひと段落して、例によってボーッとなりつつあった日々をばやく筆者のもとに、某大学の某教授（東北大学のご出身にして筆者にとっては研究室の大先輩）より某放送協会の某人気5歳児キャラクターよろしくこんな問題が飛んできた。「グリム童話の『長靴をはいた猫』が、長靴を履かなければならなかったのはなぜだ？」

シャッキーン！（※覚醒する音）ここはひとつ図書館員として面目躍如の解答を出さねばなるまい。ついでに、学生の皆さんに附属図書館を活用した情報検索・調査研究のモデルを示すいい機会だ、と俄然張り切る筆者であった。

では、ここから先は読者諸兄姉もご一緒にシミュレーションしてみよう。筆者はまず、調査の焦点を①物語の舞台・時代、②当該国・時代における長靴の価値、のふたつに絞って考察することにした。出だしは Google や Wikipedia などを使用しても OK。『長靴をはいた猫』のあらすじから、それがもともとヨーロッパの民話で、ペローの童話集が一番有名であることくらいまではわかるだろう。グリム童話にも入っているが、年代的にはペローの方が百年くらい前である（教授が「グリム童話の」と仰ったのはトラップだ。若くて素直な学生さんならば引っかけしてしまうかもしれないが、調査研究というものはまず疑ってかかれ、我々も皆さんも常に試されているのだ）。なお、検索エンジンの検索結果や web 百科事典の記事の中には、正確性に欠けるものもあり現段階では玉石混交といわざるを得ないので、参照程度にとどめておくのが吉だ。

次は具体的な参考資料集めに入る。東北大学附属図書館 OPAC（オーピーエーシーではなくオーパック。蔵書目録検索

システムのこと）で「長靴をはいた猫」で検索すると5件ヒットするが、「長靴 猫」だと不思議なことに1件増え、「ナガブツ ネコ」では7件になる。「ペロー」では34件。検索のポイントを手を替え品を替え、である（「靴」「履物」「服飾」などでお試しみよう。「はいた」「履いた」「穿いた」といった表記揺れにはご注意ください）。ある程度数をこなせばコツがつかめるので心配ご無用。

さて、ここからが肝心なことなのだが、めあての資料の情報をゲットしたら、実際にその目で確かめることが何よりも重要なのだ。めあての本の隣近所に、検索ワードではヒットしなかった（意外な題名の）おもしろそうな・役立ちそうな本がきつとある！（配架場所が地下書庫であっても、書庫ガイダンスを受講すれば学部生でも入庫可能になる。詳しくは本館メインカウンターまで！）反対に、中身をざっと眺めて調査のテーマとはかみ合わないと感じたものは、潔く除外しよう。資料の取捨選択も調査の大事なプロセスのうちである！

おっと、熱くなってしまった。では、手許に集まった資料をもとに筆者がどんな答えを導き出したかをお話しよう。結論を先にいってしまうと、猫が長靴を履かなければならなかった理由は、「貴族として認められるため」である（「つまんねーやつだな」？）。

①については、作中に時代背景は明示されていないが中世と類推される。王様がごどの王様なのかは不明であるが、日本民話に登場する庄屋やら長者やら殿様やらがごどの誰なのかははっきりしないのと同じである。②長靴（原語のフランス語では botté なのでまんまブーツ）は貴族階級と馬に乗る職業

に認められた履物で、エリートの記号とみなすことができるのだそうだ(註1)。猫が王様に直接会うことができたり、農民たちが猫の齎しに唯々諾々と従ったりしたのは、長靴を履いている＝エリートと認識されたから、と考えれば合点がゆく。実際、物語の最後で猫も大貴族として取り立てられている。粉ひきの末息子が、猫1匹しか相続できなかった身で高価な長靴を用意できたのか? というツッコミもあろうが、童話にはありがちなことゆえ気にはいけない(?)。西洋中世～近世における猫観に鑑みれば(註2)、猫が人語を解し知恵を働かせられるというのも、なんとなく納得できるというものだ。お人好しな王様や世界一美しいお姫様の造形には、ペローのルイ14世一家への追従もあったのかな、というのは筆者の浅はかな感想である。原典訳の最後に、リライト版にはない教訓として、親からたくさんの遺産をもらえたらめでたいけれど、世渡り上手で人生を切り開くのはもっとすごい、あと若くてイケメンであることの瞬発力も馬鹿にはできないよ(意訳)と

いったことが記されているのが非常に現代的で、子供向けで終わらないおもしろさがある、ということをつけ加えておく。

以上の解答に、教授は「『メルヘンの深層』を読みましょう」(註3)。“メルヘン(またはメルヒェン)”という手(ワード)があったか! 上述の答えは、ほぼその本の中に書いてあったというオチであったが、調査結果とは往々にしてそんなものである。既存の答えに皆さんはどう挑むか? Don't sleep through Life!

- 1) 工藤庸子 訳・解説『いま読むペロー「昔話」』羽鳥書店、2013年(学関 KR167/034)
- 2) 安野光雅 他編『動物たちの物語』筑摩書房、1989年(学関 KE211/024): ロバート・ダーントン 著、海保真夫・鷲見洋一 訳『猫の大虐殺』岩波書店、1990年(本館書庫 GG317/016)
- 3) 森 義信『メルヘンの深層: 歴史が解く童話の謎』講談社、1995年(学関新書 US1/0199/123)

TOPICS

学生選書企画2018 “Class Picnic : A Day in the Bookstore” を実施しました

附属図書館では、学内のゼミなどと連携して、図書館に置く本を学生が書店で直接選ぶ“Class Picnic : A Day in the Bookstore”という企画を2017年度から行っています。2018年度は、経済学部非常勤組織論(西出優子教授)研究室、東北大学サイエンス・エンジェルのみなさんに協力していただきました。

この企画で選ばれた本222冊が、附属図書館の2階学生閱

覧室(学関)にある「学生選書」コーナーに並んでいます。各自の研究や関心のあるテーマに即した個性的な本が多く、表紙を眺めているだけでも楽しくなります。書棚には、本を選んだみなさんからのコメントなども展示していますので、ぜひ学生選書コーナーにお立ち寄りください。



▶書店で本を選ぶ経済学部のみなさん



▶学生選書コーナー



▶参加したサイエンス・エンジェルのみなさん

複合生態フィールド教育研究センターを会場にデータベース講習会を開催しました

2月6日(水)、宮城県北の川渡地区にある農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センターにて、農山漁村文化協会(農文協)による農業系データベース、「ルーラル電子図書館」の講習会を開催しました。

この「ルーラル電子図書館」は、図書館ウェブサイトのデータベース・ツールインデックスにも載せており、同センターにおいても利用が見込まれるものです。今回、ご要望にお応えして、青葉山地区から川渡地区に赴いて、講習会を開催しました。これは初の試みです。

当日は農文協の方によるデータベースの利用方法の説明があり、活用の具体例も示されました。現在どの地域にど

のような病害虫の被害が出ているか等、川渡地区の研究教育に密接に関わる記事に多くの関心が寄せられました。心配された参加人数ですが、講習会の実現に関わっていただいた先生方の広報のおかげで、21名もの学生や教職員の参加があり、大盛況となりました。



▶講習会の様子

Information

医学分館改修工事による休館と臨時図書室開設のお知らせ

医学分館は1984年に現在の本館が完成してから35年が経過しており、かなり老朽化が進んでいるため、このたび全面的な改修工事を行うことになりました。

工事期間中は全館立ち入り禁止となるため医学分館は休館し、臨時図書室にて代替サービスを行います。

利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力いただけますようお願いいたします。



休館期間 2019年8月1日～2020年9月30日(予定)

臨時図書室 開設期間：2019年8月7日～2020年9月下旬

開設場所 加齢医学研究所 実験研究棟 6階

※研究施設内のため、学外の方はご利用いただけません。

利用時間 平日 9:00～17:00

臨時図書室・休館期間中のサービス等については、医学分館ウェブでご確認ください。

<http://www.library.med.tohoku.ac.jp/renewal/renewal.html>



附属図書館公式SNSで情報発信しています!

皆さん知っていますか? 附属図書館では公式SNSで毎日情報を発信しています。

Twitterでは図書館からのお知らせのほか、館内の混雑状況、データベースの活用ワザ、図書館職員のお仕事など、多彩な情報を140字の中に目いっぱいつぶやいています。Instagramでは図書館に関する写真として、隠れたスポットや季節の風景、図書館ならではのインテリアなど公開しています。

みなさんのフォローやいいね♥、よろしくお願いいたします。



Twitter

@hagi_no_suke
https://twitter.com/hagi_no_suke



Instagram

tohoku_univ_lib
https://www.instagram.com/tohoku_univ_lib/



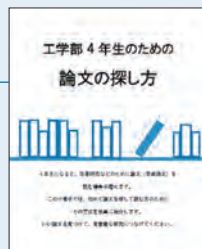
小冊子「論文の探し方」「卒論作成に役立つ本」を配布中(工学分館)

4年生になると、卒業研究などのために論文を読む機会が増えます。初めて論文を探して読む方のためにその方法と、卒業論文を作成する時に参考になる本について紹介した小冊子を作成しました。好評につき増刷し館内にて配布しており、工学分館ウェブサイトからもダウンロード可能です。なお、「工学部4年生のための」と銘打っていますが、それ以外の皆さんにも役立つ内容となっていますので、この冊子を参考に、自分にあった本、いい論文を見つけて、有意義な研究につなげてください。

工学分館ウェブ(小冊子)へのリンク【PDF】

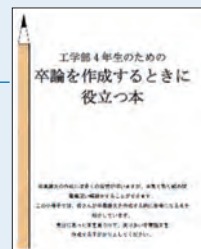
工学部4年生のための論文の探し方

論文の検索・
入手方法を解説



工学部4年生のための卒論を作成するときに役立つ本

理系の卒論の書き方
や、文理を問わず
活かせる論文の
書き方などの本、
約20冊を紹介。



2019年3月にリニューアルした工学分館ウェブサイトでは、自分に合った資料やサービスを見つけるためのポータルサイト『図書館を活用するために』を公開中! 学習・研究にご活用ください。

工学分館ウェブサイト→



Tohoku Univ. Library
@hagi_no_suke

東北大学附属図書館のツイッター公式アカウントです。東北大学生の学習とキャンパスライフのためにつぶやきます。
https://twitter.com/hagi_no_suke
Sendai, Miyagi, JAPAN

編集・発行

東北大学附属図書館報「木這子」第44巻第2号
【発行日】令和元年 8月 1日
【発行】東北大学附属図書館
発行人 加藤 晃一(広報委員会委員長)

東北大学附属図書館
〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1
TEL:022-795-5911 FAX:022-795-5909